



数学中高連携

5月13日（月）に数学の中高連携の授業研究が行われました。この取り組みは、中芸高校がずっと取り組んでいるものです。

今回は、高等学校の学力向上の学校訪問と重ねて行いました。



【授業参観者から】

- 子どもの様子を見ながら授業ができていた。中学校と高校の違いを教えていた。この授業の目標が何かを明確にする必要があるのでは。
- 生徒の様子を見て、落ち着いて授業を受けることが出来ている。授業に対する意欲もある。いい雰囲気だと思った。授業にも工夫があった。基礎力の改善が必要。
- 高校の授業は中学校の基本が必要だと思う。丁寧にやっているので時間がかかると思う。なので、付けたい生徒の力をより明確にする必要があると思う。
- 因数分解のたすきかけを○□△☆で工夫されていたが、具体的な数字でやることも必要なのは。
- 実習は説明をなるべく少なくして、演習をさせるなど授業をパターン化させるのも必要では。
- 板書は、最後まで残す方が後の生徒への振り返りができるので良いのでは。
- スモールステップの段階を踏んだプリントを作成していて生徒はやりやすいと思う。
- 生徒同士の教え合いができていた。

【授業者】

- 計算ができると言うよりは、数学の考え方を生徒に残してあげたい。数学的な考え方が出来るようにしてあげたい。